

# No.1

# 令和5年4月に実施した市民意識調査の結果

令和5年4月に市民の皆様へ交通広場の整備イメージに関するアンケート調査を実施いたしました。集まった皆様のご意見を反映させ交通広場の整備イメージ案を更新しました。

## アンケート実施方法

### 1. アンケート実施期間

令和5年3月28日から同年4月30日まで

### 2. 募集方法

- ①田無駅南口交通広場内に看板設置
- ②市報（4月1日号）掲載
- ③ホームページ掲載

### ○調査項目

Q1 あなたの年齢を教えてください

- ・10代以下 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代以上

Q2 あなたのお住いの地域について教えてください

- ・ひばりヶ丘駅周辺 ・保谷駅周辺 ・田無駅周辺 ・西武柳沢駅周辺
- ・東伏見駅周辺 ・市外

Q3 交通広場の整備イメージをご覧いただき、率直な感想を教えてください

- ・とても満足 ・満足 ・どちらとも言えない ・不満 ・とても不満

Q4 「どちらともいえない」「不満」「とても不満」と回答した方にお聞きします。

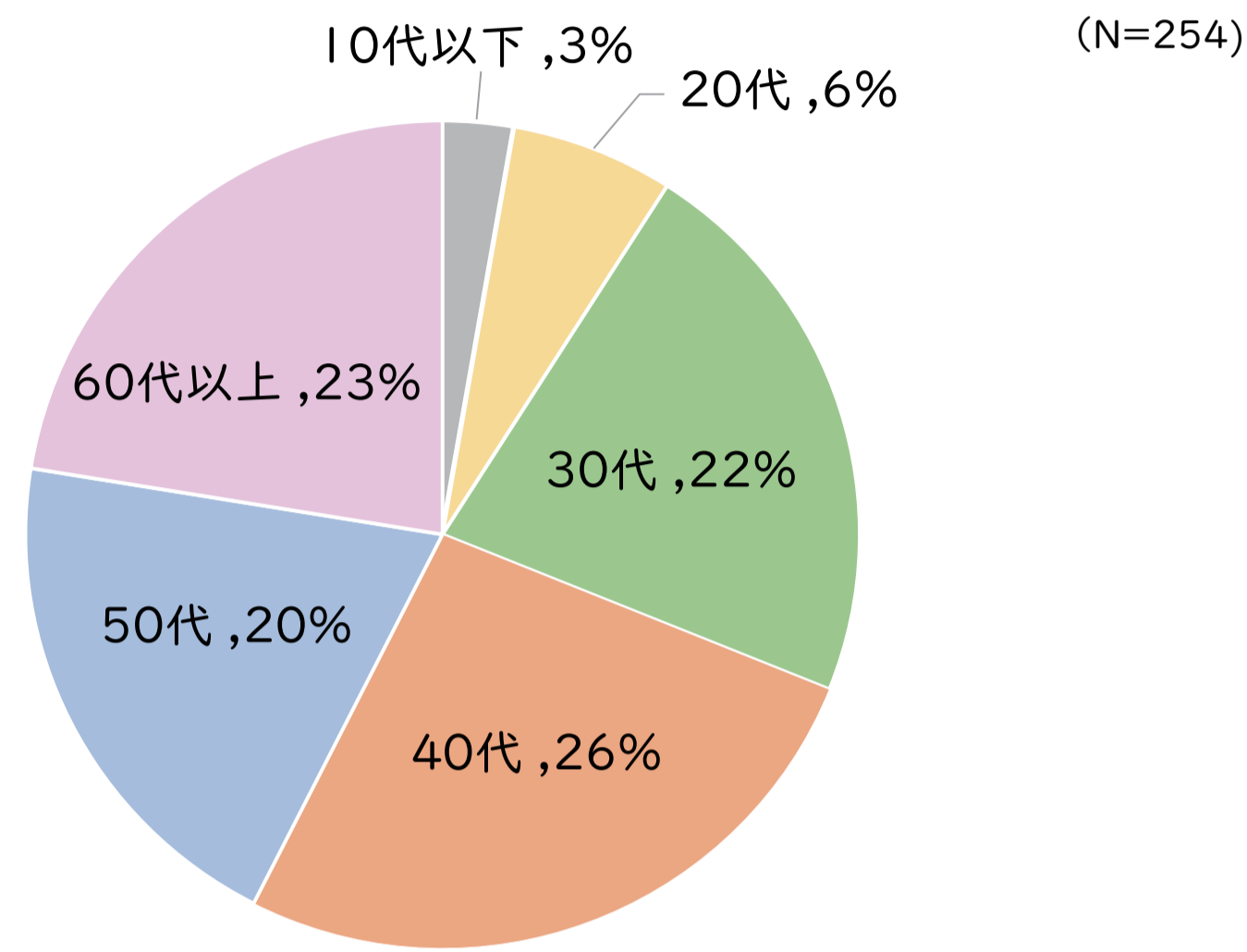
交通広場に求める機能や雰囲気などを教えてください（自由回答）

Q5 ご意見ご要望などございましたら、ご自由にお書きください（自由回答）

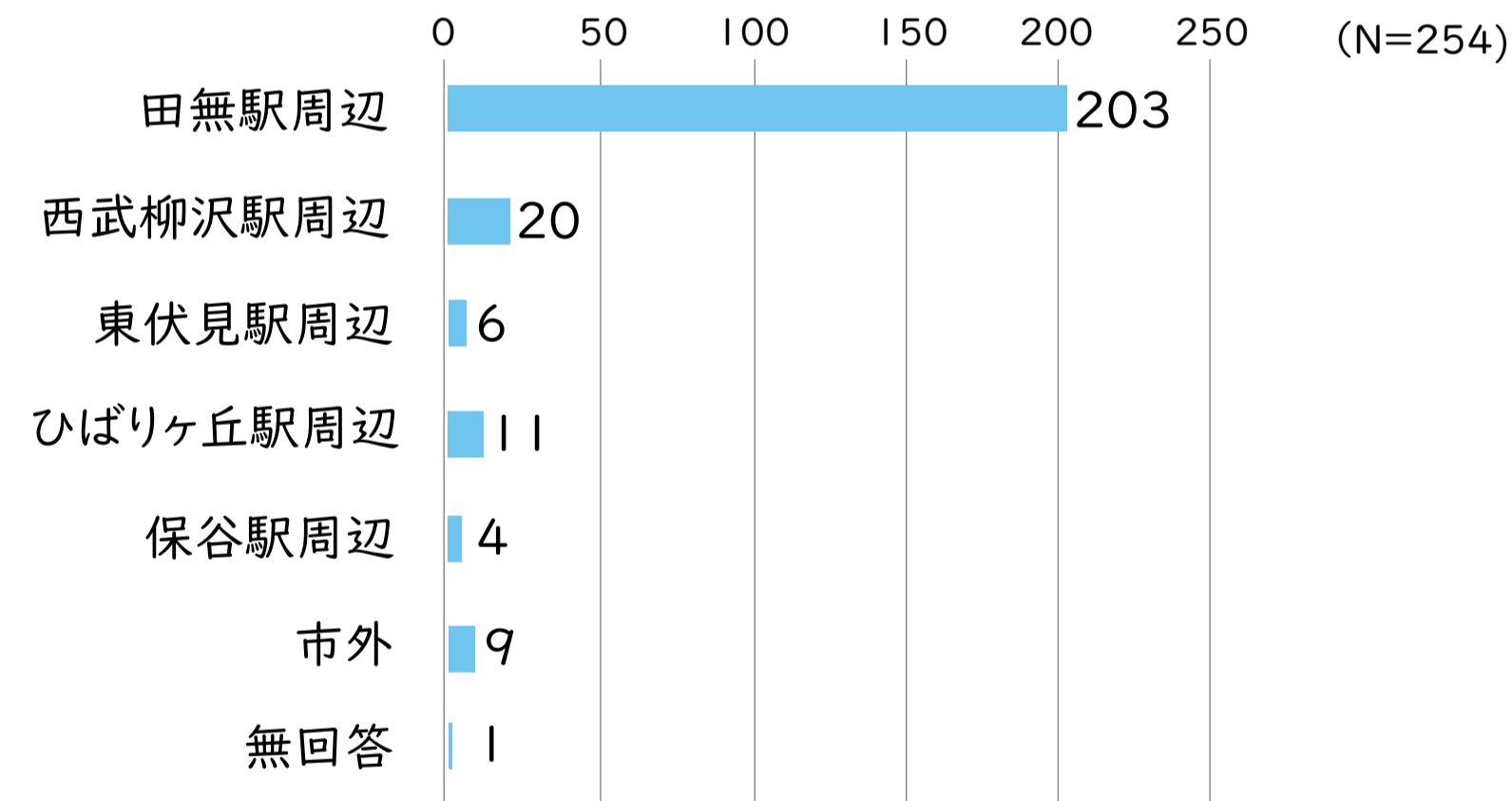


▲整備イメージ（案）（昼・夜）

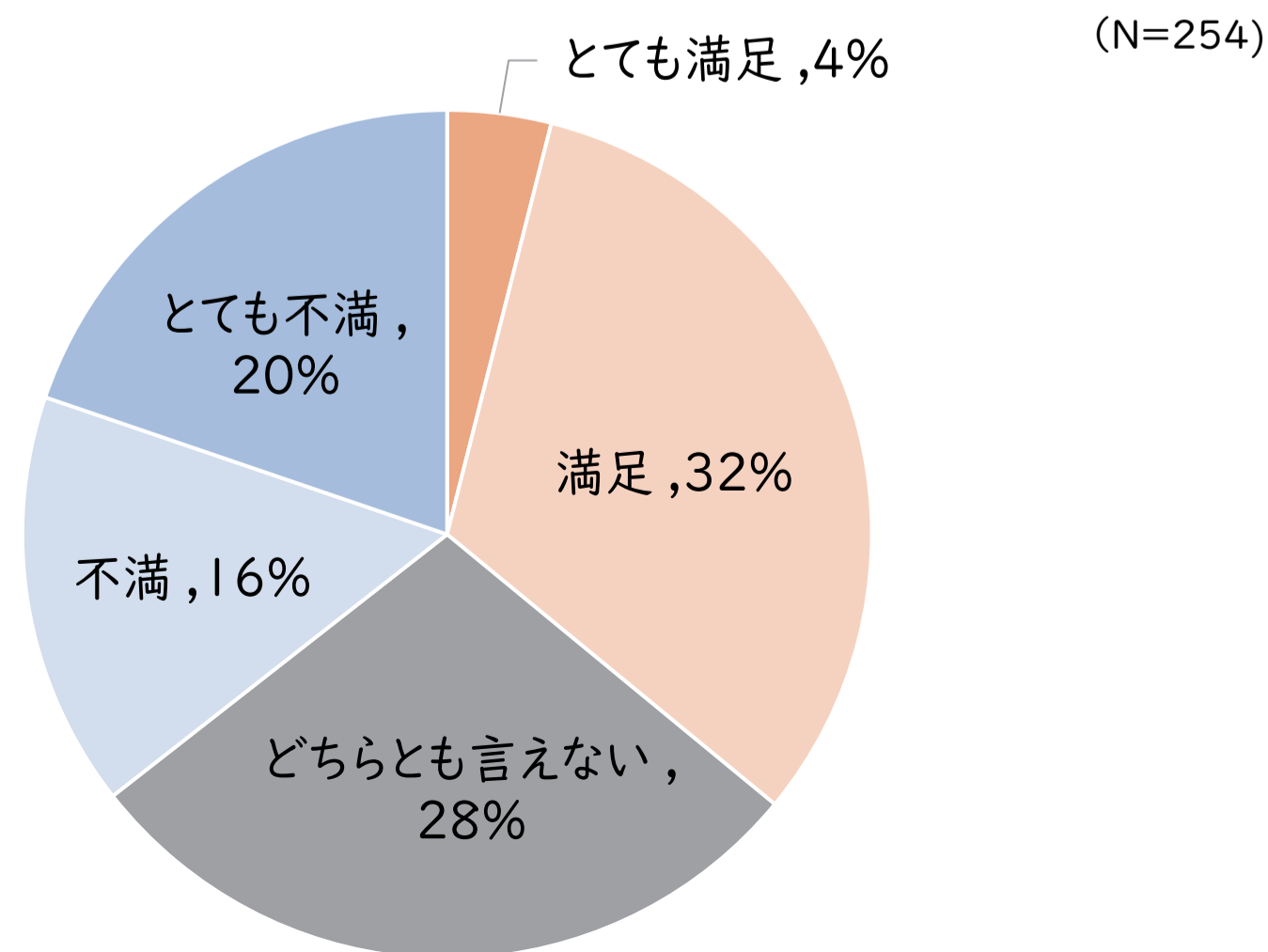
## Q1 あなたの年齢を教えてください



## Q2 あなたのお住いの地域について教えてください



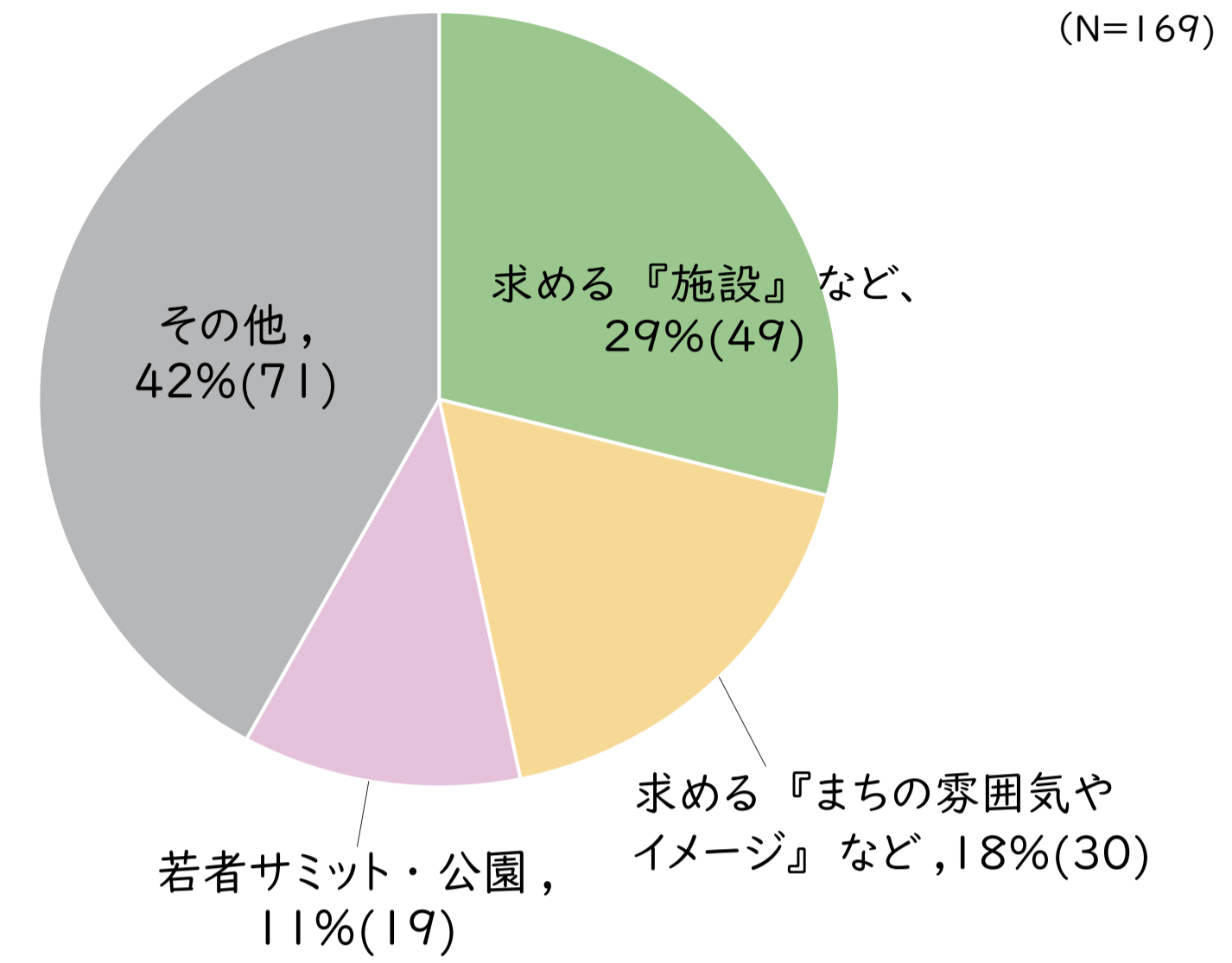
## Q3 交通広場の整備イメージをご覧いただき、率直な感想を教えてください。



## Q4 交通広場に求める機能や雰囲気などを教えてください。（自由回答）

※自由回答を基に、カテゴリー区分し、集計しています。

※回答のうち、多数の要望等が含まれる場合は、各カテゴリーに要望を振り分けて集計しているため、Q3のサンプル数とQ4の集計数が異なります。



### ■ 求める『施設』など

- ・みどり、花、広場、ベンチ、トイレ、モニュメント、一般車両の駐車スペースや市民の憩いのスペースなどの設置
- ・舗装色味や夜の照度を明るくしてほしい
- ・案内サインのわかりやすさ

など

### ■ 求める『まちの雰囲気やイメージ』

- ・明るく洒落たイメージ
- ・魅力的なまちづくり
- ・「映える」ロケーションなど若い方の発想を交えてほしい

など

### ■ まちづくり若者サミット・公園

- ・公園にしてほしい
- ・まちづくり若者サミットの案が良い

など

### ■ その他（交通広場以外のご意見）

- ・商業施設、飲食店や駐輪場がほしい
- ・民間路線バスに乗り入れてほしい
- ・遠回りになる
- ・禁煙にしてほしい

など

**Q** トイレを設置してほしい！

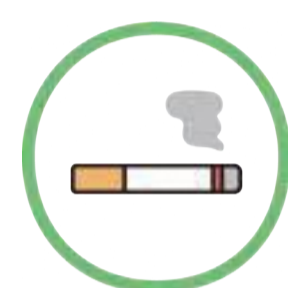
**A** 近隣に公共施設や公衆トイレがございますので、そちらのご利用をお願いします。

**Q** 市役所通りに信号をつけてほしい！

**A** 今後の整備状況により、警視庁等と協議し、検討してまいります。



**Q** 喫煙所は設置しないでほしい！



**A** 受動喫煙対策としてコンテナ式の喫煙所の設置を検討してまいります。

**Q** 交通広場内に横断歩道を設置してほしい！

**A** 警視庁との協議の結果、交通広場内に横断歩道は設置できないことになりました。

**Q** まちづくり若者サミットのイメージ案が良い！

**A** 2階建て構造は、現計画では整備を予定しておりませんが、若者サミットでのご意見を踏まえ、にぎわいの創出が図られるようにイベントスペースの確保などを検討してまいります。

**Q** 民間路線バスに乗入れてほしい！

**A** 現段階では未定ですが、南側の都市計画道路事業の完了が見えてきた段階で、民間バス事業者には積極的に働きかけていきます。

**Q** 飲食店や商業施設がほしい！

**A** 店舗を建築できる土地については、交通広場の整備範囲には含まれておりませんが、駅周辺のまちづくりについては、若者サミットでもご意見としていただいたにぎわいが生まれ、交流が行われる場となるよう、商業施設などの誘導について検討してまいります。



アンケート等に寄せられた交通広場に関するご意見やご要望、に対して、現段階での想定をお答えいたします。



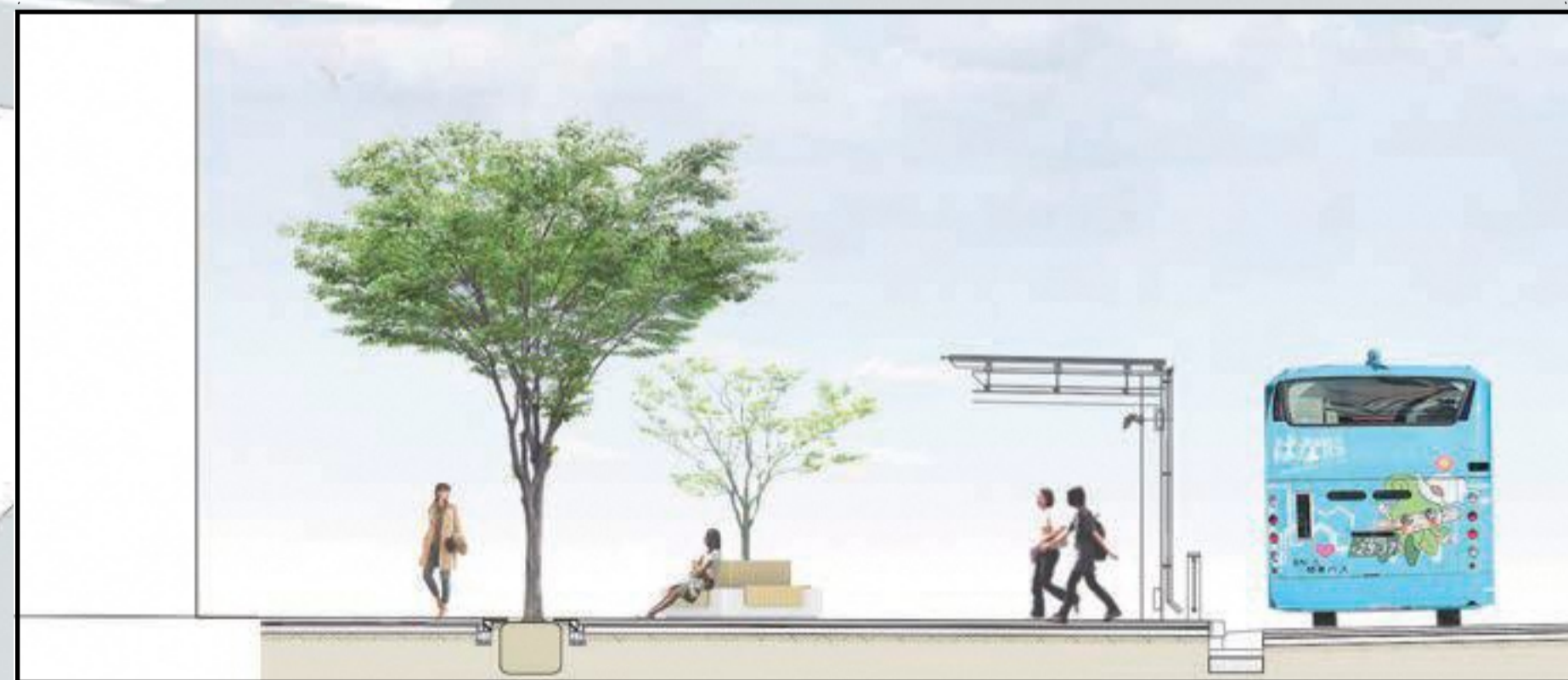
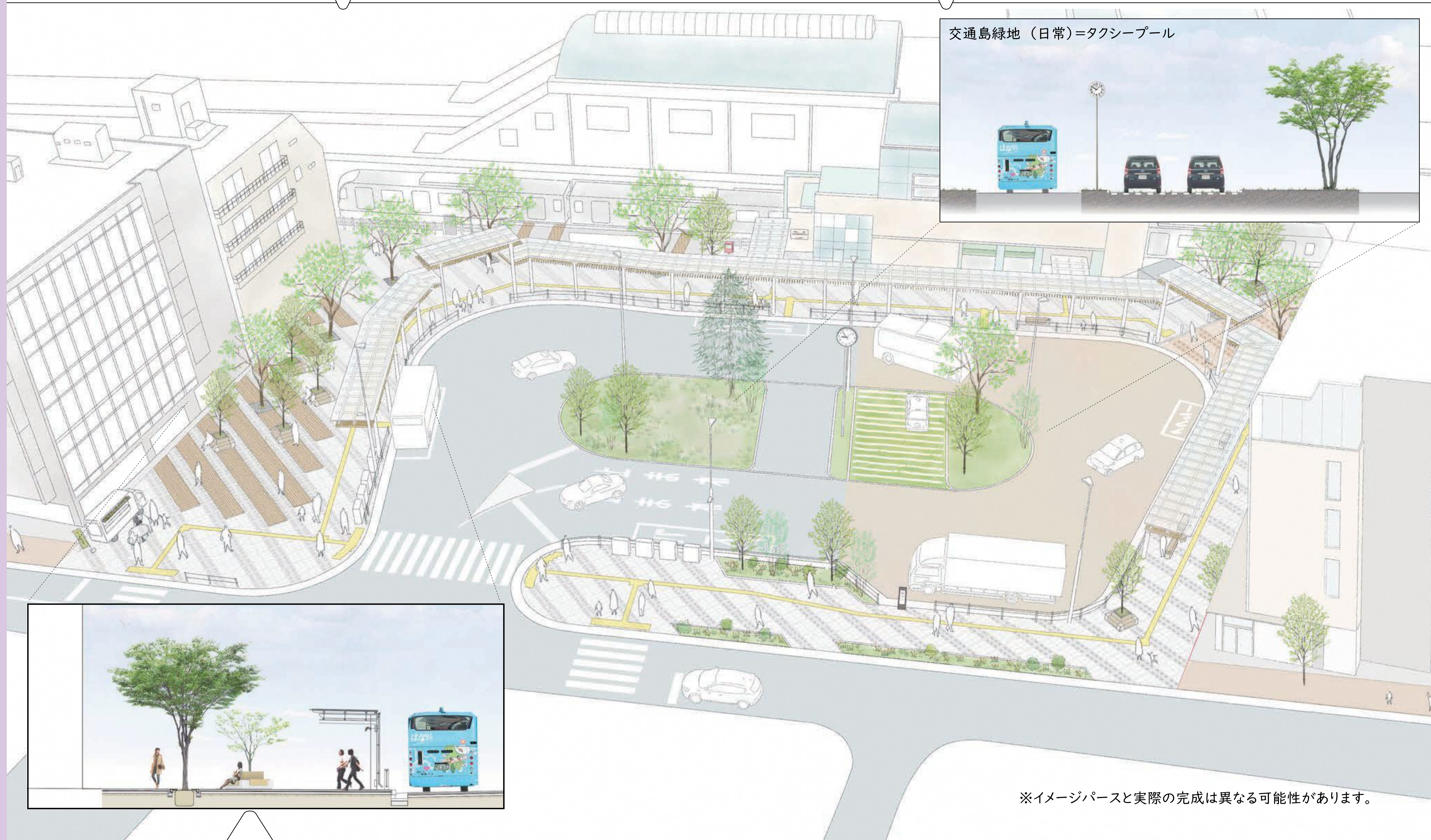
# No.3

## 1 広場全体で十分な緑量を確保

地植えされる高木やプランター樹木などを広場全体に配置して木陰の下でくつろげる「公園のような交通広場」を目指します。

## 2 シンボリックな緑の交通島

ターミナル中央の交通島とタクシープールを緑化してシンボルツリーを植栽します。雨水を集水・浸透させるグリーンインフラ（レインガーデン）を設置します。



## 3 日常的な賑わいを生み出すイベント広場

広場全体の舗装パターンと連続するウッドデッキを設け、日常的なにぎわいの場を創出します。キッチンカーの乗り入れや小規模なイベントが行える広場とします。

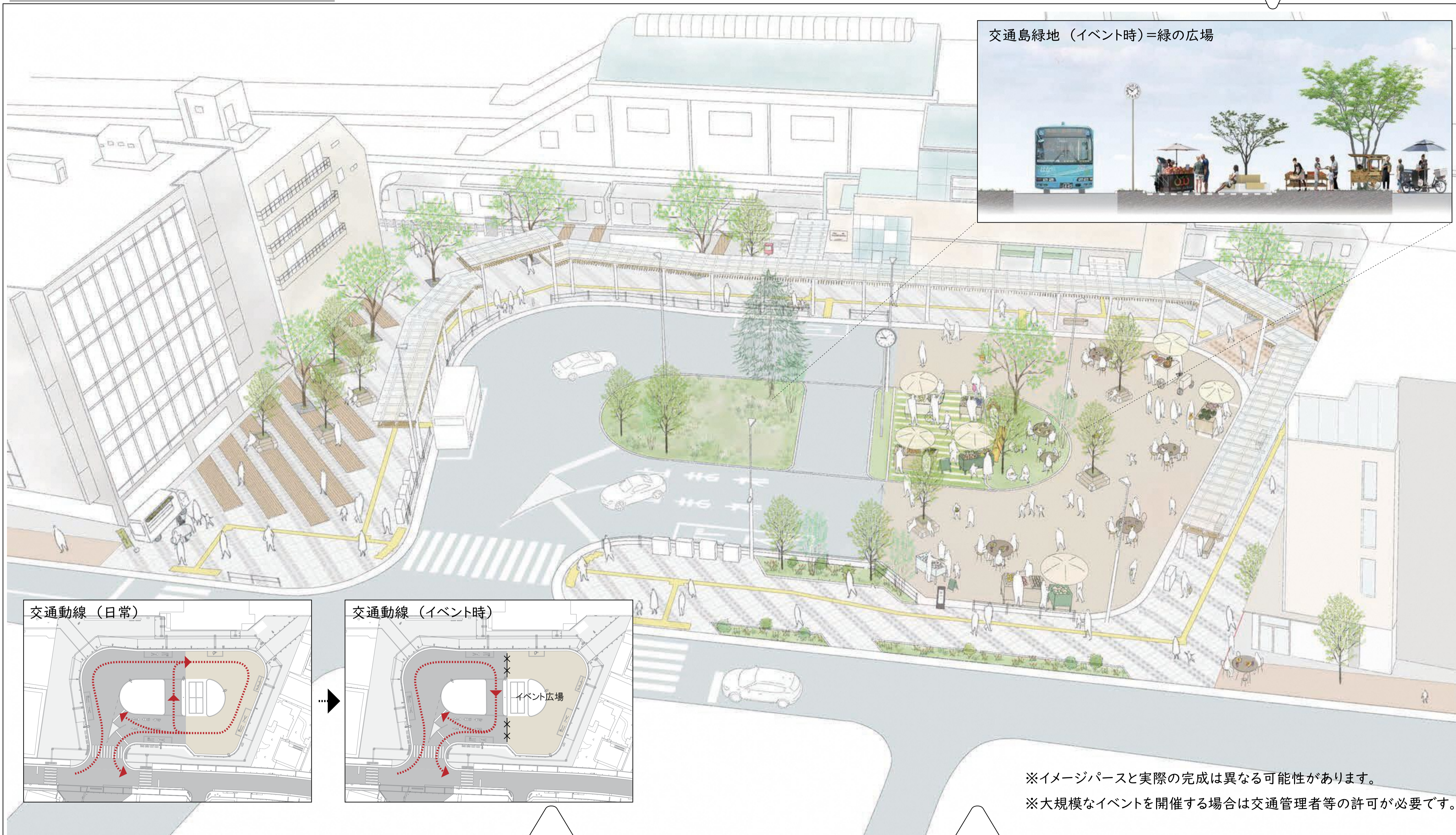
※イメージパースと実際の完成は異なる可能性があります。

皆様から頂いたご意見を参考に、新たな交通広場のイメージを作成中です。みどりと賑わいを加えて、田無の顔としての交通広場を検討中です。

田無駅のにぎわい創出のために、交通広場の一部を一時的に歩行者に開放し、イベント広場としての活用も検討しています。

## 4 バスロータリー（一部）を歩行者専用の広場として活用する

イベント時にバスロータリーの一部（東側）の車両通行を封鎖して歩行者専用の広場とすることで大規模な催し等が行える仕組みを考えています。マルシェや蚤の市など市民の方々の様々な活用が期待されます。



交通島緑地（イベント時）=緑の広場

交通動線（日常）

交通動線（イベント時）

イベント広場

※イメージパースと実際の完成は異なる可能性があります。  
※大規模なイベントを開催する場合は交通管理者等の許可が必要です。

## 5 イベント時の交通動線

交通島中央のバスプールを利用してロータリーの交通機能を保ちながら広場でイベントができる仕組みとします。広場の舗装を切り替えて視認性を向上させ、利用者が安心して車道で寛げるよう工夫します。

## 6 周辺街区と一体となった賑わいの創出

イベント時に東側の横断抑止柵を取り外すことで周辺街区と一体となった賑わい空間が生まれます。広場のイベントをきっかけとして駅利用者の拡大を目指します。

## 1 四季の移ろいを感じる植栽計画

夏は木陰で涼むことができ、冬は光が差し込んで季節毎に花・緑・紅葉・木漏れ日が楽しめる植栽計画とします。落葉紅葉樹や常緑針葉樹を組み合わせて四季折々の風景を作り出します。



ケヤキ



ヒマラヤスギ  
(常緑針葉樹)



ハナミズキ  
花期：4～5月  
紅葉：10～11月

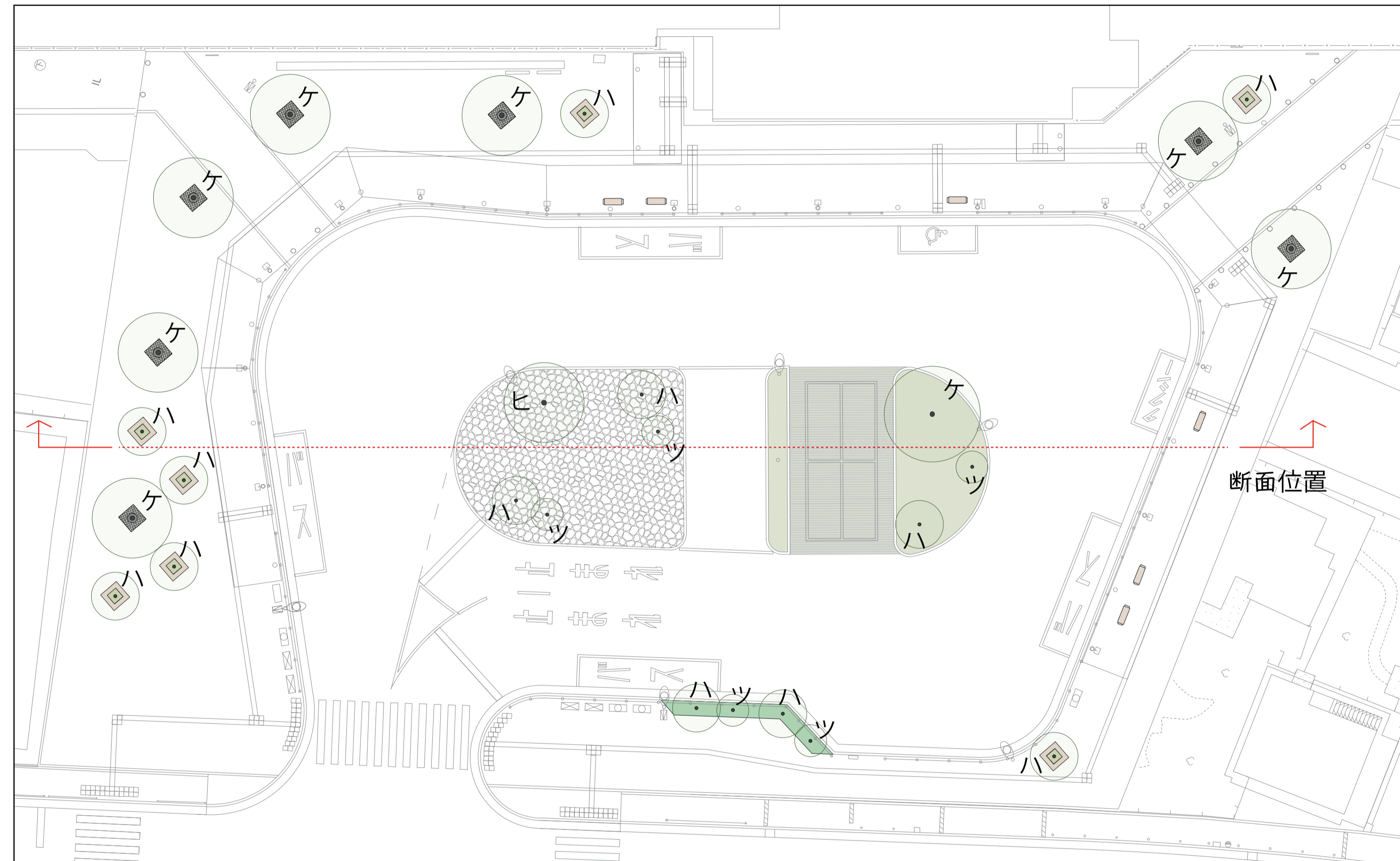


ヤマツツジ  
花期：4～5月  
紅葉：10～11月



ヤマアジサイ  
花期：6月

シンボルツリーのヒマラヤスギを中心として広場全体をケヤキの列植で囲みます。プランターベンチに植えられたハナミズキや植え込みのヤマツツジ・ヤマアジサイが広場に花を添えます。南側植え込み内の低木は園芸ボランティア団体と協力して維持管理を行います。



- ツリープレート
- 可搬式プランター
- 植栽帯 (芝張り)
- 雨水浸透緑地
- 植栽帯 (低木混植)

### 高木凡例

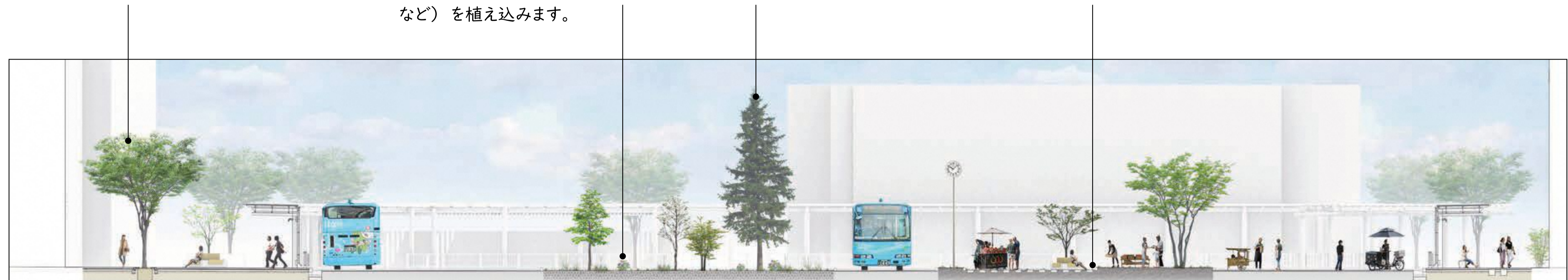
- ケ：ケヤキ (H8m)
- ハ：ハナミズキ (H3m)
- ヒ：ヒマラヤスギ (H8m)
- ツ：ヤマツツジ (H1.5m)

地植えされる高木 (ケヤキ) の列植が広場全体を囲うように木陰を落とします。

雨水浸透緑地 (レインガーデン) に四季折々の花が咲く低木 (アジサイなど) を植え込みます。

広場中央のシンボルツリー (ヒマラヤスギ) が南口利用者を出迎えます。

緑化ブロックで舗装されたタクシープールは、イベント時の活動の中心となります。



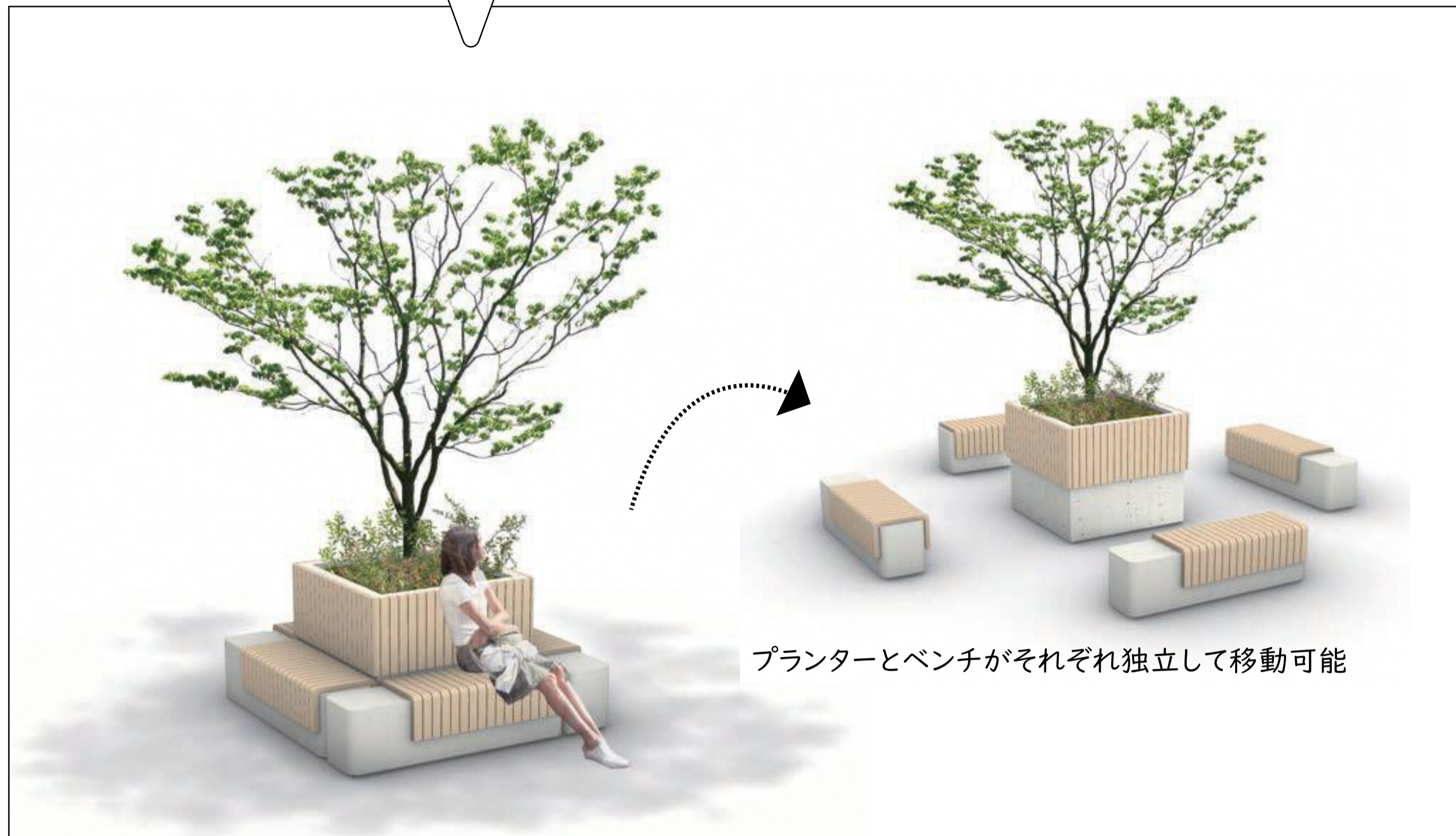
広場横断面図

交通広場内には西東京市らしい、みどりの配置を検討しています。(四季折々の変化や樹木の生む緑陰を考慮し、田無駅南口としてふさわしい交通広場を検討)

交通広場が整備された際の具体的な使い方やにぎわいのイメージについても検討しています。交通広場の機能を確保しながらも、植栽やベンチ等の設置に工夫を凝らして居心地の良い駅前を目指していきます。

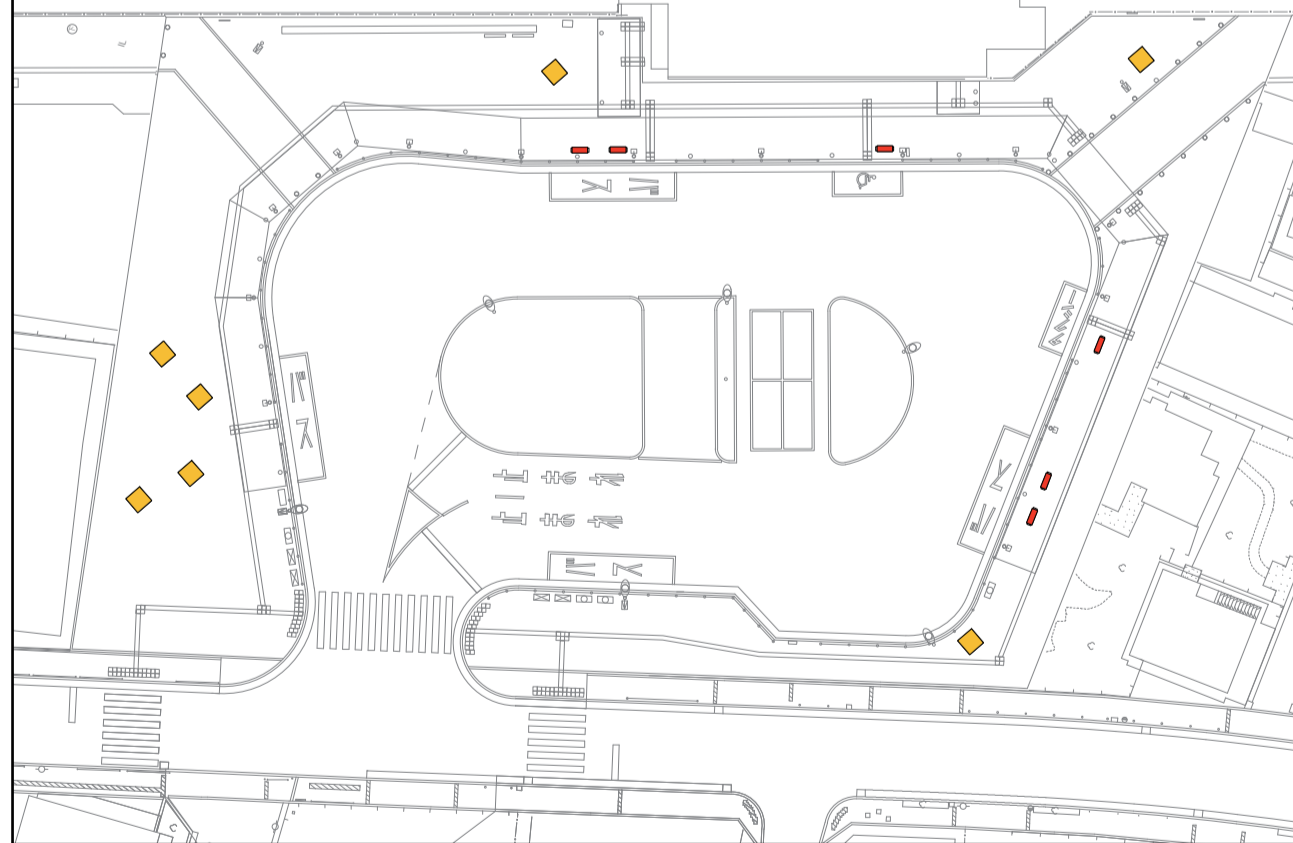
## 1 可搬式プランターベンチ

プランターの四方にベンチを設けて木陰の憩い空間を提供します。中央のプランターと四方のベンチをそれぞれ独立可搬式とすることでイベント時に自由に配置換えすることができます。

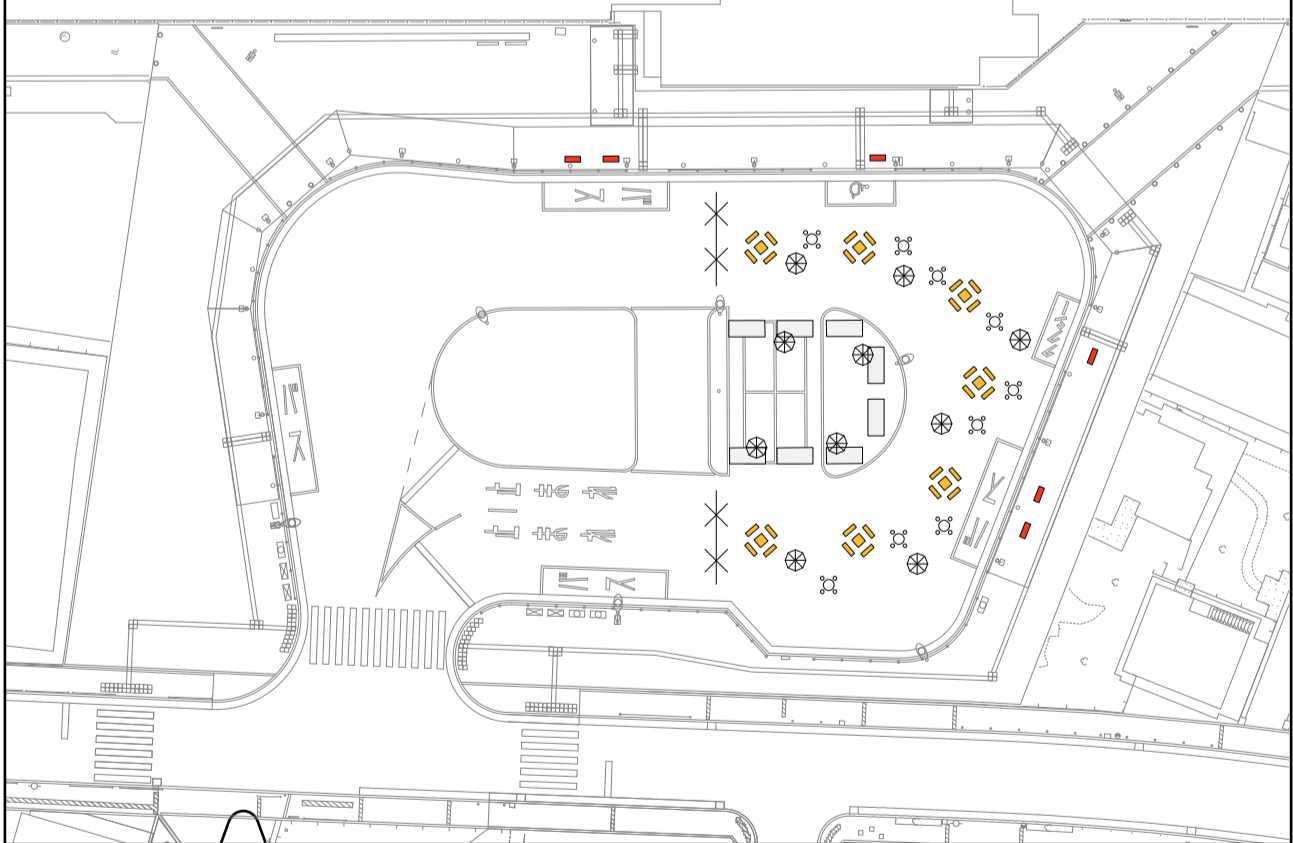


樹木の木陰で休めるプランターベンチ

ベンチ配置（日常）



ベンチ配置（イベント時）



■ 可搬式プランターベンチ ■ 常設ベンチ

## 2 イベント時のにぎわいを生み出す仕掛け

イベント時にプランターベンチをロータリー内に複数配置してにぎわいの場を構成します。プランターとベンチを分けて配置することで多様な用途に対応し、利用者の休憩・飲食・観覧のための場を提供します。

## 3 日常の木陰空間を提供する

日常的にプランターベンチをイベント広場周辺に配置して歩行者が木陰で休憩できる場を設えます。四方に向かって座れる形状とすることで、複数利用者が同時に木陰空間を共有できるデザインとします。



イベント広場（西側）

※イメージパースと実際の完成は異なる可能性があります。



周辺街区との一体的な開発（東側）

## 4 バス待ちベンチの活用

シェルター下のバス待ちベンチを両側から座れるデザインとし隣接する商業施設にも向かって利用できるよう工夫します。常設ベンチや可搬式プランターベンチを組み合わせて広場東側に活気ある歩行空間の整備を検討します。